

平成 23 年度 横浜支部総会

6月4日(土)横浜市開港記念館にて開催しました。会場は、重要文化財なので、どっしりとしており参加された皆様に喜んでいただきました。

会員の出席者は、昨年より5名多い25名、来賓は今回講演をお願いした群馬工業高専特命教授小島先生、本部から関根副理事長、そして、川島川崎支部長と吉田平塚支部長でした。



司会役の原澤のもと、プロジェクター画面を通して22年度の活動と会計及び監査の報告がなされ、皆様の承認をいただきました。22年度の活動の特徴としては、いつでも、会計内容が明確にできるようになったこと、役員全体が自由に情報の交換ができるようになったことです。その結果、各種イベントが円滑に進むようになりました。また、約600名の会員の名簿を利用、分析して会員の動向把握に努めてきました。おかげで、少しずつ成果が出てきています。これらは特に役員の木村、鈴木、草場たちのおかげです。23年度の活動計画、予算案、人事案の報告があり、出席者からのいろいろな意見や応答の結果、滞りなく承認されました。さらにアンケートの結果などをふまえて、具体的な活動を始めます。懇親会は飲み放題でもあったためか、大いに仲間意識が盛り上がりました。

“炭素繊維を使って水浄化”この分野への応用に着目したのは、小島先生が世界で初めてではないかと想像しています。我々の同窓でもある先生の講演は、はじめAKB48などが出てきてはっとしました。

しかし、わかりやすく思わず引き込まれて行きました。途中、大谷先生のお声も拝聴でき、懐かしさいっぱいでした。この企画を進めた関係者には多くの皆様から賛辞をいただいています。

会場の選定に苦勞された岡田、迷路のような会場案内を先導した土屋、受付は保坂、長井が担当して、会員との交流を深めることができました。ありがとうございました。さらに楽しく生き生きとした横浜支部になるよう心掛けてゆきます。



(文責横浜支部長望月)